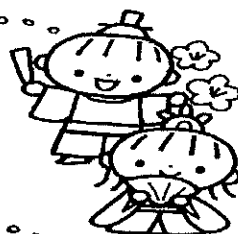


3月 ほけんだより



牧野保育園
令和7年3月

今年度も残すところあと1ヶ月となりました。たくさんの思い出でいっぱいとなった1年も締めくくりの時期となり、子ども達の心と体も大きく成長されたことと思います。4月からの新たな生活に向けて、生活習慣を見直し、病気やけがに気をつけて残りの日々も楽しく過ごしましょう。

3月3日は耳の日

「3」の数字が耳の形に似ていることから、3月3日は「耳の日」と言われています。子どもは耳の病気になりやすいので、日頃からお子さんの様子をよく観察しましょう。

今月の予定
身体測定：5日（水）

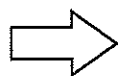
耳の病気



子どもが風邪を引いて鼻水が出ているのを放っておくと、鼻水の中にウイルスや細菌が繁殖し、耳管を通して中耳に侵入して中耳炎を起こすことがあります。中耳の中で炎症が起こって膿がたまり熱を出すことや、鼓膜を圧迫するため強い痛みが起こります。また、鼓膜が破れて膿（耳だれ）が出ることもあります。

発熱やかぜの症状に加えて…

- しきりに耳をさわる、頭を振る
- 耳を触れると嫌がる などの症状



「中耳炎」の可能性あります。

耳鼻科の受診をご検討ください。

聞こえの異常（難聴）

聞こえの異常（難聴）には、生まれつきの聴力が弱い場合と、病気が原因となっている場合があります。聞こえの異常は言葉の育ちにも影響します。子どもは「聞こえにくい」ことに気づきにくく、正確には言えません。聞こえにくいサインを知って、早めに気づくことが大事です。

難聴の原因となる病気は？

◎滲出性中耳炎

急性中耳炎が治りきらないと、中耳にサラサラとした液（浸出液）がたまります。痛みや発熱などの症状がないため、発見が遅れることがあります。

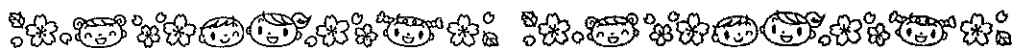
◎おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）

原因となるウイルスが内耳（音を感じる部分）に感染して、難聴を起こします。流行性耳下腺炎の予防接種を受けて、感染を防ぐことが重要です。

聞こえにくいサイン

- テレビの音が常に大きい
- 後ろから呼んでも気づかない
- 話し声が大きい
- 言葉が遅れている・発音がおかしいなど感じる
- 聞き間違いが多い

進級・就学を控えて



新年度を控えて、進級や就学をとても楽しみにしている子どもたち。しかし、節目のこの時期は、子どもも不安やストレスを感じやすい時期でもあります。指しゃぶりや爪かみなどのストレスサインが出ていないか注意しましょう。また、新生活に向けて、毎日のリズムを整えていきましょう。